

令和7年度 青野小学校学校だより

No. 9

ぶどうがくえん



葡萄学園

R8. 1. 8 発行 文責 佐藤

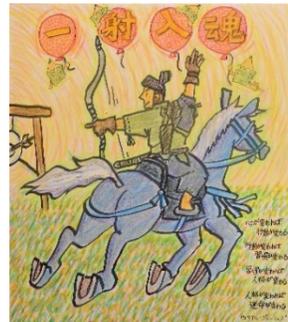
学校教育目標

『自ら学び、心身共にたくましく生きる子どもを育てる』

目指す子ども像

- ①『明るい子』
- ②『思いやる子』
- ③『伸びゆく子』

あけましておめでとうございます。
 本年もよろしくお願いたします。



文化産業祭出品色紙より

2026年がスタートしました。昨年は幼稚園・小学校の様々な教育活動を青野地域の皆様や保護者の皆様に支えていただきまして大変ありがとうございました。青野っ子たちは、毎日のあいさつの仕方や地域行事への関わり方が変わってくるなど、少しずつ力を付けてきています。

今年も、「自分から進んで人と関わり、地域とつながる子ども」を目指し自分のめあてや目標に向けて進んで挑戦し最後まで頑張る姿に対して、皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

第3学期始業式

1月8日（木）、令和7年度の第3学期がスタートしました。

2週間の休み明けは、落ち着いた態度で始業式に臨みました。

地域や家庭を巻き込んで活性化を図ったあいさつ運動や自分たちの思いを取り入れて子どもが輝く地域行事に参加してきた取組が、より充実したものとなっていくように「自分から進んで人と関わり、地域とつながる子ども」であり続けてほしいと伝えました。高学年を中心に全校で取り組んだことが、今後も下の学年にいかに関継がれていくのか楽しみです。



防災学習を通して(5・6年生) ~出前講座・ひとづくり懇談会~

5・6年生が、12月9日（火）に防災学習の一環として、井原市役所総務部危機管理課の八杉さん・原田さん並びに青野地域の防災関係者として井上国雄さん・三宅秀治さんをお招きして「いきいき井原出前講座」を行いました。

まず、西日本豪雨災害当時の井原市内の被災の様子の写真を見たり、井原市防災マップの見方や指定緊急避難場所・指定避難場所についての説明を聞いたりしました。その後、防災備蓄品の一つである非常食（アルファ化米）の試食や段ボールベットの組立体験をし、パーティションで仕切られたスペースでの避難所での生活の大変さも一部体感しました。

また、ここまでの学びをもとに、12月16日（火）の「ひとづくりネットワーク懇談会」で参加された委員の皆様と懇談をしました。児童からのプレゼンテーション発表の後に段ボールベットの組立やパーティションの設置を共同で行い、その中で「安心・安全な青野地域をつくるため、子ども・家庭・地域がつながりを強くしていくにはどんなことができるか」というテーマで意見交流をしました。

学習を通して学んだことだけでなく、日常生活においても「共助」の精神を大切にして地域の方と主体的につながろうとしたり、自分たちの言葉や行動で相手に伝えていけるようになればと思います。子どもたちの変容を、今後も見守ってやってください。



あいさつタスキデザインコンテスト表彰式

12月12日（金）の第3回学校運営協議会・ひとづくりネットワーク運営協議会に出席された委員の皆様の前で、あいさつタスキデザインコンテスト上位入賞者の表彰式が行われました。

なお、完成した「あいさつタスキ」のデザインは得票数1位の西山哲正さん（6年）の「あいさつ運動/めざせ!! あいさつ日本一」となっています。地域の皆様・保護者の皆様、7時50分から8時までの登校時間でご都合がつかれる方は、この手作りタスキを身に付けて一緒に子どもたちとあいさつ交流をお楽しみください。皆様のご参加を、いつでもお待ちしております。



文化産業祭 ~子どもたちがお世話になります~

1月11日（日）の青野地区文化産業祭では、例年行っている各学年の作品展示に加えて3・4年生が地域学習で青野葡萄について調べたもの、5・6年生が防災学習でまとめたもの・あいさつ標語を会場内に展示しております。どうぞ、お近くでご覧ください。

また、「子どもが輝く地域行事」とするために、さらに新たな取組を始めます。子どもたちが飲み物の提供をする「子どもカフェ」ブースの運営や、会場内の大人にあいさつをする「あいさつサイン集めカード」の実施もあります。さらに、特設ステージでは、有志の子どもたちと地域の方による「与一太鼓」の披露もあります。地域の皆様と共に、子どもたちが地域を盛り上げようと頑張ります。地域の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

資源回収お世話になりました。~長年に渡りありがとうございました~

第2回資源回収が、12月14日（日）にありました。当日は早朝より中央選果場にたくさん空き缶やビン、布や金属などが集まりました。各自治会の方々にもご協力いただきまして誠にありがとうございました。資源回収の収益金は、子どもたちの教育活動の大切な財源として使わせていただきます。

なお、家庭数の激減により運営が維持できなくなったため、PTA主催での資源回収は本年度で終了の予定です。長年に渡りご協力いただきましてありがとうございました。